

令和元年度 学校自己評価表 安芸太田町立上殿小学校

教育目標		豊かな人間性と 将来をたくましく生きぬく児童の育成									
教育理念		自らの伸びが実感できる活力ある学校の創造 ○ 基礎的・基本的な内容の確実な定着を図る。 ○ 友だちや地域の方との交流や体験活動を通し、豊かな感性を育てる。 ○ 信頼される学校づくりをすすめる。									
中期経営目標	短期経営目標	担当	目標達成のための方策	評価指標	資料	2学期達成状況	2学期 最終コメント				
確かな学力の育成	学ぶ意欲や学び合う態度を身につけさせ、よりよく問題解決ができる子どもを育てる。	基礎基本の力をつける	教務	自分の考えを伝え合う活動を取り入れた課題発見解決学習をすすめる。	意欲的に学習に取り組んでいる児童の割合(I-check等の質問紙)80%以上。	授業観察 I-check等の質問紙	2	2学期末児童アンケートによると、「自分の考えを友達に伝えることは好きです」68% (1学期60%) 「友達の意見を聞いてなるほど、すごいと思ったことがある」92% (1学期80%) いずれも1学期より高まっているのは、解決する手段や方法を提示したことや、課題発見解決学習を取り入れた単元を実施したことにより、伝え合う活動が充実したと思われる。			
				教材等の特質に応じた見方、考え方を習得する授業改善を進める。	国語・算数の学期末テスト全国平均以上の児童の割合70%以上。				単元テスト 家庭学習点検表	2	学期末テスト全国平均以上の児童の割合は、国語61%、算数61%だった。国語においては、初見の読み取りの力が不十分であった。今後、文章読解の問題に多く触れさせる。算数は、単元テストでは理解できていたが、時間をおいて出された問題では、忘れていたことが課題だった。計画的に復習問題を取り入れていく。12月から個別の補充を行っている。3学期は、週一時間を設け、学力の向上を図る。放課後などの個別補充学習を継続する。中学年以上では、辞書を積極的に活用させ、語彙力の向上を図る。数学的な考え方を身に付けるために、算数用語を用いて説明するようにさせる。
				帯タイムや補充学習・家庭学習における基礎基本の力をつける取組を継続し、学力の向上を図る。							
豊かな心	心豊かな子どもを育てる。	自己有用感が持てる児童を育成する。	生活安全	日常生活の中で、互いに「かかわり 認め合う つながる児童」の姿をめざす。	自分から進んであいさつをしたり、友達同士であいさつし合ったりする。	保護者、児童アンケート 日常観察	4	保護者アンケートの結果、「子どもは大きな声であいさつしている」の肯定的評価が84%から96%に上がった。児童アンケートは、「地域の人に対してあいさつをしている」の肯定的評価が96%から100%に上がった。しかし、学校への来客時のあいさつにはまだ課題が見られる。			
				ルールや決め事を守り、自己決定の場を与える。児童会で目標達成キャンペーンを行う。	児童会が設定した月目標の達成率が昨年度より上回るようにする。また、月目標の達成のためのキャンペーンを児童会を中心に学期に1回行う。				担任による 記録および観察	2	2学期も月目標を決める段階で、児童会が行事等と関連させて目標を設定した。児童会主催で「忘れ物をしないようにしよう」キャンペーンを実施した。達成率は昨年度とほぼ同じ28%だった。例年忘れ物に関する目標の達成には課題があるが、自分で決めたことは頑張る力をつけなければならない。3学期も児童会が中心となってキャンペーンを行い、全員達成に向けて取り組む。
				努力目標を設定し、目標達成を目指した意欲的な生活を送る。	上小版目標達成「アクションプラン」において、スモールステップを積み重ねていく。そのために生活目標・各行事・業間などで、時期に合わせた目標とする。目標は肯定的で評価しやすく数日で達成できるものとする。目標の達成率が昨年度より上回るようにする。						
健全な身体	たくましい体を持った子どもを育てる。	体力の向上を図る	生活安全	業間運動の充実や体育科授業改善を図る。外遊びの奨励を行う。	1学期 一輪車カードの達成率を70%達成する。 2学期 体カテストの県平均を下回った種目1つに重点を置いて取り組み、前回記録を上回った児童を80%以上にする。 3学期 体カテストの県平均を下回った種目1つに重点を置いて取り組み、前回記録を上回った児童を80%以上にする。	記録 授業・業間観察	4	2学期は1学期の体カテストで県平均を下回った50m走に重点を置いた。業間運動にスタート練習を取り入れ、走り方のコツを指導した。再度、50m走の記録を測定した結果、80%の児童が前回記録を更新した。3学期は、同じく1学期の記録が良くなかった立ち幅跳びに重点を置いて体力向上に取り組む。			
開く	情報発信を積極的に行い信頼される学校づくりを実現する	保護者・地域の理解を深める	総務	・学校便りや学級通信・HPの更新を通して、情報提供を行う。 ・地域行事への積極的参加ならびに来校の機会を設け、互いの理解を深める。	・情報提供を計画的に行う。 学校便り 月1回 学級通信 月2回以上 HP更新 月2回以上				アンケート	4	保護者アンケートで「学校便り・学級通信・PTA集会等を通して学校の様子がよくわかる」という項目は94%だった。学校での児童の様子や各取組の趣旨を、学校便りやHP、学級通信を通して情報発信し、共通理解を図ることができた。どの学級も月2回をめぐりに学級通信を発行することができた。また、運動会や地域参観日、学習発表会等の機会を通して、保護者・地域の方に児童の学習の様子を見ていただくことができた。

評価基準			
4:100%達成	3:80%おおむね達成	2:60%以上達成	1:60%未満